

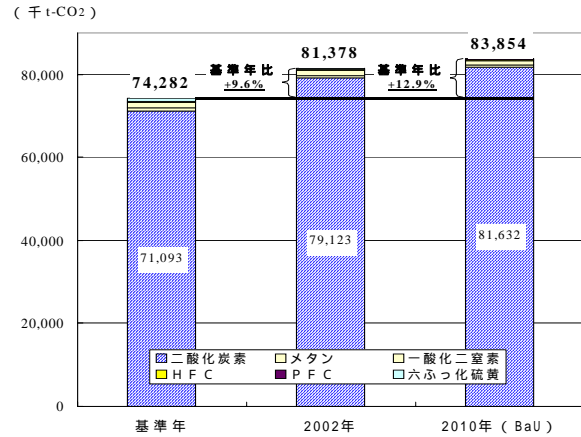
千葉県の温室効果ガス排出の現況と削減目標

1 温室効果ガス排出の現況と将来見通し

本県の 2002 (平成 14) 年における温室効果ガス排出量は、81,378 千 t-CO₂ で、基準年に比べて 9.6%増加しており、さらに、現状から特に対策をとらない場合、2010(平成 22)年には 12.9%増加すると予測される。

なお、県内で排出される温室効果ガスの種類別では、97%以上を二酸化炭素が占めている。

温室効果ガス排出量の将来推計

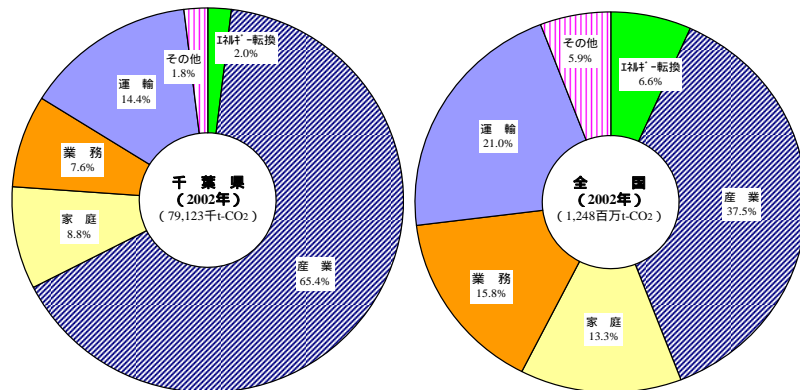


基準年
1990年：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素
1995年：ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄

BaU：現状から特に対策を講じない場合

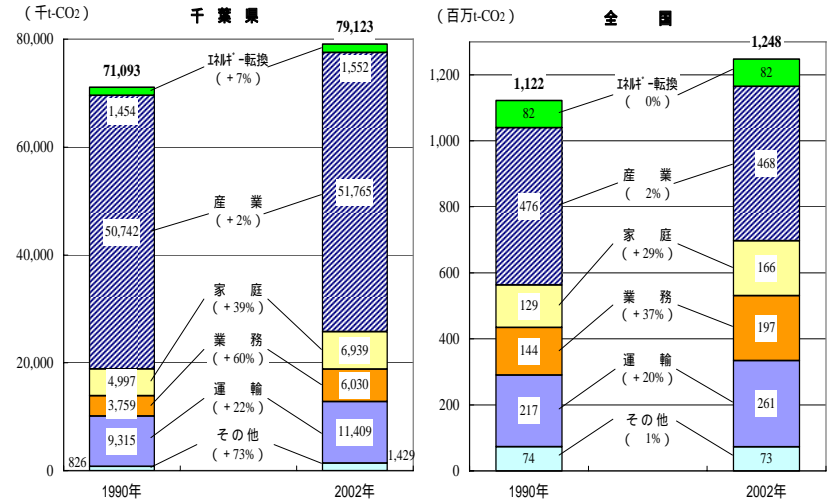
また、二酸化炭素排出状況を全国と比較すると、産業部門の占める割合が全国の 37.5%に対し 65.4%を占めており、本県では産業活動中心の排出状況が特徴となっている。

千葉県及び全国の部門別二酸化炭素排出量の構成比



本県の部門別の二酸化炭素排出量の伸び率 (1990 年比) では、業務 (事務所、店舗等) が 60%、家庭が 39%であり、いわゆる業務、家庭などの民生系からの排出量の伸びが特に大きくなっている。全国では、産業部門などが減少しているのに対して、本県ではすべての部門において増加している。

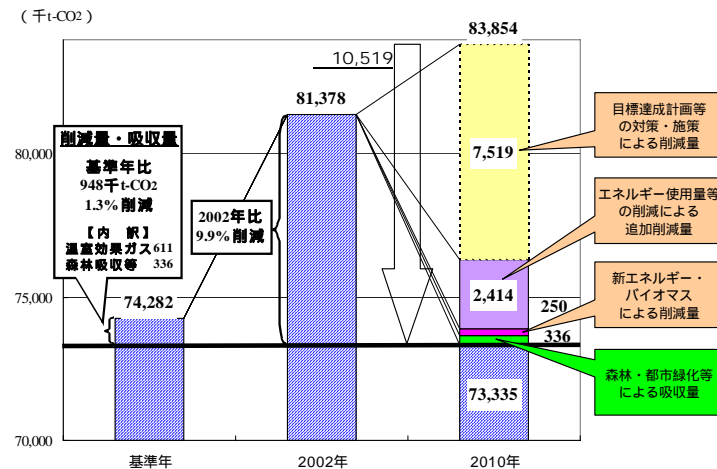
千葉県及び全国の部門別二酸化炭素排出量伸び率の推移



2 削減目標

平成 18 年 6 月に改定した「千葉県地球温暖化防止計画」において、平成 22 (2010) 年度において、基準年に比較して 1.3%の削減を見込んでいる。

温室効果ガス総排出量、削減量及び吸収量



国の 6%削減目標の内訳と県計画での削減率

区分	国の削減率	県の削減率
温室効果ガス削減対策	0.5%	0.8%
森林吸収源	3.9%	0.5%
京都メカニズム (排出権取引等)	1.6%	-
合計	6%	1.3%